



—*Motion Palpation Study Group*—

M P 通信

No.25

10 周年記念特別号

今回のMP通信は、12月2日に開催しました10周年記念大会のレポートをします。

年末差し迫った時期にもかかわらず、非常に多くの方にご参加頂き、有意義な「10周年記念大会」を開催することができました。これも皆様方の熱意とご愛顧によるものと、スタッフ一同、心から感謝いたしております。

そして、症例発表をいただいた先生方にお礼申し上げます。

今大会のために、科学新聞社の齋藤信次氏が多忙なスケジュールのなかお越しいただき、開会の挨拶をしていただきました。齋藤さんはMPSG発足からご尽力をいただき、MPSG東京の会場も用意していただいております。



午前の部は症例発表をおこないました。MPSG発足当初より学び続けている先生や、学んで間もない先生など、5名の受講生の方と4名のMPSG講師が腰痛、坐骨神経痛、胸郭出口症候群、変形性膝関節症などの症状に対して、MPSGで学んだ検査法・治療法でどのようによくなったのかを発表して頂きました。

質疑応答では、各発表者への質問の手が多数上がり、熱気高まる症例発表となりました。



竹嶋 大典氏



諏訪 龍矢氏



梅垣 瑞穂氏



吉田 正仁氏



山口 裕之氏



佐藤 憲三氏



中田 人之氏



中川 達雄氏



石井 秀典氏

C7-T1 領域における上肢筋力への影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・竹嶋 大典
 坐骨神経痛に対するモーション・パルペーションを用いた一症例・・・・・・・・・・・・・諏訪 龍矢
 胸郭出口症候群に対するモービリゼーションの実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・梅垣 瑞穂
 脊椎圧迫骨折の既往がある高齢者に対する施療の一例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・吉田 正仁
 症例腰痛「MPSPG から学んだこと」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・山口 裕之
 モーション・パルペーションを用いた高齢者の姿勢改善の一症例・・・・・・・・・・・・・佐藤 憲三
 小児の低酸素性虚血性脳症による機能低下が改善した症例・・・・・・・・・・・・・中田 人之
 変形性膝関節症に対するモーション・パルペーションを用いたアプローチの一症例・・・中川 達雄
 触診の学びについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・石井 秀典

午後の部はディスカッションを行いました。「どうやって治療する部位を見つけるか？」というテーマで、6人1グループとなり MPSG スタッフが進行役で加わり討議しました。

西村公典先生（東京 Basic コース講師）に進行とルール説明をしていただきました。今回初の試みとなりましたが各グループ積極的な意見が飛び交い、時間が足りないほど盛り上がりました。普段の勉強会では参加される方が質問以外で発言をすることがありません。ですので、今回のディスカッションで治療に対する考え方や思いといった話をしてくださったことで各先生方の治療に対する意気込みがうかがえました。「類は友を呼ぶ」といいますが、同じ志を持つもの同士が集まり、話をするということがいつもとは違った発見や満足感があり、先生方の親近感も湧いてきてとてもよい雰囲気になりました。



西村 公典氏





この日最後の演目は中川会長による基調講演です。
「モーション・パルペーションの歴史」「PTPメソッド　ーフィクセーションの使い方」というテーマで講義をしていただきました。

「PTP」とは、Primary Therapy Point の略で“最初に治療すべき椎骨を見つける方法”という意味で、この方法は今まで公開されていない検査法になります。

患者さんの症状に対し、椎骨の歪みがしっかりと把握できる治療家の先生は、複数の椎骨のズレを発見されていると思います。その複数のズレの中から、どの椎骨を治療すれば患者さんの症状を改善できるのか。椎骨の治療をされている先生方の多くが、このような悩みを持たれていると思います。

この方法は、「脊柱のモーション・パルペーションでいくつかのフィクセーションを見つけたが、どのフィクセーションを治療すればよいのかわからない」という場合に使う検査法です。この方法を使うと治療の確実性が上がり、治療の失敗を限りなくゼロにする、そして治療のスピードアップにもつながります。

今回、残念ながら参加出来なかった方は、またどこかでお話を聞けるチャンスがあるかもしれません。その際は是非参加してみてください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

10周年記念大会の様子をYouTubeにて掲載していますので、こちらも一緒にご覧ください。

YouTube : 「MPSG 10周年記念大会」

<https://www.youtube.com/watch?v=cEQO5bQjFdw>



大会終了後は懇親会を行いました。

司会進行は、木村建雄先生と佐藤奈津子先生の名コンビで、相変わらずの安定した笑いと進行で会場を盛り上げていただきました。



(株)ラルゴ 代表取締役 古賀敏明氏による乾杯の挨拶で和やかな雰囲気での始まりました。



懇親会の景品は、10周年ということで㈱ラルゴ古賀敏明氏から書籍を贈呈していただきました。そして、絶版になった中川先生翻訳の書籍（中川先生直筆サイン入り）と、中川先生が世界各地で撮影した写真、計14点をくじ引きにて参加された方々に手渡してプレゼントされました。





ディスカッションの様子



眞鍋 和彦先生からお花をいただきました



大会の準備、運営を頑張ってくれた二人
(稲益 健人 中井 幹雄)

〈 大会参加者のアンケート 〉

他の先生方がどのようにモーション・パルペーションを臨床に活かしているかウかがうことができて参考になりました。職場環境によっては制約もある中で工夫や努力をされており自分もがんばろうと思いました。

ディスカッションでは、言語化することによって自分が普段考えていることや悩んでいることを再認識できました。

PTPメソッドを使ってみようと思います。一人一人の患者さんに応じた治療ができるようこれから一歩一歩進んでいきたいと思っています。

普段、理学療法を中心に治療をしていてので、
今回、カイロ・モーション・パルペーションを学んで良かったので、
また明日から治療の考え方や技術を取り入れて
いきたいと思っています。

9名の先生方に日々の診療やそれに対する工夫を聞いて、様々な患者さんにMPSGを学んでいることを実践にいかすと改めて気がさせて頂きました。

ディスカッション — 自分で考えていることを要約にまとめて言葉にするのは難しい事でしたが、治療(説明)には必須な能力だと思っています。やってみると楽しいものでした。ありがとうございました。

一貫性を持って施術することの大切さを再確認できたと思います。
たくさんテクニック・検査がある中でどのように評価し、施術して
結果が得られるのか、混ぜて一緒に診ているとなかなか何を
していいのかと自分の自信にたがずにくっと思ってしまう。
日々、施術の中で様々なテクニックを使いますが、それがどこに
どのように結果を出しているのか明確にしていきたいと思ひます。

症例発表では皆様がコツコツとMPSCGを学んだことを
コツコツと実践されていることを聞かせていただき
良い刺激を受けさせていただけました。

PTP Xソッドも臨床の現場で使っていきたいです。

MPSCG 10周年おめでとうございます！

皆様の症例発表が素晴らしく、ここからの日々の治療に取り込めて行きたい事が
たくさんありました。インスタツヨにては先生方の治療に対する熱意を感じる事が出来
明日から頑張ろう！と決まってきました。

PTP Xソッドを使い、効率的・効果的な治療が出来るように練習しようと思ひます。

今までは、あつ、他の先生方と、ディスカッション形式がなかったため、色々な意見を聞けなかった。また、考えが異なる事もあるよう気がしました。

症例発表では、どのような治療をしているか、どのような考え方をしているか、参考にになりました。PTPXYの理論を用いて見て、MPSQの話を用いていて良かったと思います。PTPXYの話を自分で使えるように、MPSQでも、と勉強して、相談とうまくできるように頑張らせて頂きます。

症例からの治療法、結果まで。

実際に行われたことを聞けて、質問できて良かった。

普段学生としか話をしないので、社会人の、臨床に

たずさわっている方々と話出来たり、それぞれの

治療の目指しているところを聞けて良い刺激になり、

楽しかった。これからの勉強に活かしていこうと思う。

初めてのディスカッション形式はとても良い話を聞けました。

自分の疑問に答えていただいたり、諸先生方の話を

直接聞けたのはすごく良い経験になりました。

吉田先生の講演の様、左道管折高齢者に対し、施行例は
多岐にたり、今後の参考にエッセンスをしたいと思います。

PTPメソッドのフィロソフィの方向へ転換を叫ぶのが、最近の
方法で、明日から最近にみよ、と思います。

10周年おめでとうございませう。

用背、小児の低酸素性虚血性脳症によるものなどの症例
膝関節への応用などの興味深いテーマに
この研究会の奥の深さを感じさせられた。

ディスカッションをしてみ、参加されている皆さんの疑問がどこにあり、何に
関心があるかが分かる、参考になりました。

PTPメソッドは非常に参考になりました。明日から使い勉強したいと思います。

今日はいつもと違う内容で、一掃を免除して先生の方々の症例発表を、
ディスカッションしたり、自分以外の人が向と考えて治療、こころのやりかた
とて新鮮でした。

PTPメソッドを今日初めて教えたこと、明日から取り入れること
と思います。

みなさん疑問が生まれそのたび自問自答をくり返し
自分の経験と先輩方の知恵を舞借りて答えを出していき
1種の哲学となつて感じた
先生の基礎講演を聞いて一筋の光が見えよきがある。

大会直前になってから症例発表させていただくことになり、事務局の先生には
迷惑とせり、自分自身も慌しい中発表準備をしたが、発表後たくさん
いい評価をいただき、発表して本当に良かったぞ。自信に満ちた。
プラスコミュニケーションについても、自分の考えをまとめて述べることや、他の人の考えを
聞くことができたことは良かったぞ。
PTPの方法を聞き「なるほど!」と思えました。徳した気分ぞ。
中川先生の最後の言葉「生涯を貫く仕事を持つこと」心に留めておきます。

●カイロプラクティック及び手技療法関連商品に関するお問い合わせ

株式会社 ラルゴ

TEL 06-6866-3317 FAX 06-6866-3427

HP : <http://largo-corp.net/>

MPSG ホームページの会員ページでは、MPSG（Basic コース、Advance I、II コース）受講者からの質問にお答えしています。そして会員限定の動画、写真を掲載しています。

Facebook もございますので合わせてご覧になってください。

MPSG ホームページの会員ページのユーザー名とパスワードは下記になります。

会員ページ： [ユーザー名：mpsg2018] [パスワード：doh30]

LINE@でも最新情報を配信しています。

下記 QR コードからお友達登録をお願い致します。



MPSG 事務局

〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-5-21 ヤマヤビル 3 階

中川カイロプラクティックオフィス内

TEL : 06-6358-1991 FAX : 06-6358-1991 E-mail : info@mpsg.jp

HP <http://www.mpsg.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/sg.mp.52>